

年

組 名前

教材2-D-(3) 関数関係の意味④ 『 y が x に比例するもの』の解決のために

○ ^{ともな}伴って変わる2つの変数 x 、 y があって、 x の^{あた}い値を決めると、それに対応する y の値がただ1つ決まるとき、 y は x の関数である。

○ y が x の関数であり、変数 x 、 y の間に、 $y=ax$ (a :比例定数)の関係が成り立つとき、 y は x に比例する。

○ 比例を表す式 $y=ax$ について、
 ・ 比例定数 a が正の数るとき、 x の値が増加すると、 y の値は増加する。
 ・ 比例定数 a が負の数るとき、 x の値が増加すると、 y の値は する。

○ y が x の関数であり、変数 x 、 y の間に、 $y=\frac{a}{x}$ (a :比例定数)の関係が成り立つとき、 y は x に反比例する。

○ 反比例を表す式 $y=\frac{a}{x}$ について、 言葉を入れよう。
 ・ 比例定数 a が正の数るとき、
 $x < 0$ 、 $x > 0$ のそれぞれの変域で、 x の値が増加すると、 y の値は減少する。
 ・ 比例定数 a が負の数るとき、
 $x < 0$ 、 $x > 0$ のそれぞれの変域で、 x の値が増加すると、 y の値は する。

☆ 次の式の中で、比例のもの、反比例のものはどれでしょうか。

- ① $y=7x$ ② $y=-2x$ ③ $y=\frac{8}{x}$
 ④ $y=3x-4$ ⑤ $xy=-5$ ⑥ $y=10x$
 ⑦ $y=\frac{11}{6}x$ ⑧ $y=-\frac{9}{x}$

比例のもの

反比例のもの